

佐賀大学生協 ひとことカードのTwitter発信

第002号
(通算435号)



[組織運営]

取り組み概要

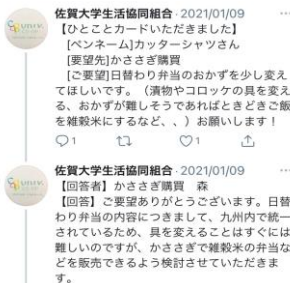
開始時期：2020年11月中旬
場所：ひとことカードの意見をGoogleフォー
ムで集約しその回答をTwitterで発信
参加者数や組合員の反応：28件の回答数

背景や概要：もともと食堂に来ていた組
合員が、カードに書き込む形態を行って
いた。しかし社会情勢の影響で組合員が
食堂に来ることが減少した。このよう
な状況下でも組合員の声を集めたいとい
う思いで実施。

ウェブで組合員の声を集める！

POINT.1

学校に来れなくても組合員の声は集められる！

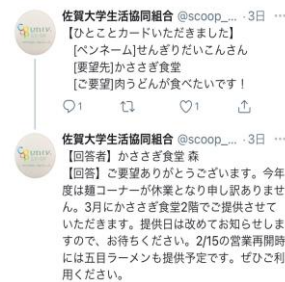


ひとことカードが設置してあることを組合員は知っていましたが、新型コロナウイルスの影響により、大学に来ること自体が難しくなり、ひとことカードを投書する機会も激減しました。もともと意見数があり多くなかったようですが、さらに少なくなりました。その現状を受けて、意見を言える機会を現状が変化しても設けたい！と感じ、実現した取り組みです！また、1年生にひとことカードのシステム自体が周知されていないのではないかと思います、学校に来れなくても意見を言える場としてひとことカードのweb化を始めました。

POINT.2

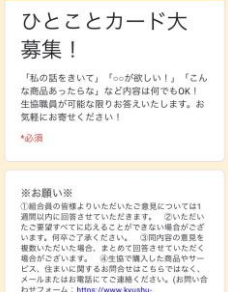
組合員に身近なTwitterで回答を発信！

回答を掲示するとそこが密になってしまうので、Googleフォームで組合員からの意見をまとめて、回答をTwitterで発信しました。Twitterは比較的多くの組合員が利用しているツールなので、自分の声¹が反映されていることを実感しやすく、大学生協をより身近に感じることができるのではないのでしょうか。また、職員さんが運用にかかわっているアカウントを使用することで、職員さんが学生の現状を把握して寄り添うことができますね。



POINT.3

意図に合った組合員の声を集めることができた！



web化にすることで、大学内の多くの人が気軽に意見を投下できるというメリットと同時に、大学外の人も投下できるようになります。また、これは紙媒体でもそうですが、大学生協以外に関する声も寄せられるようになります。大学内の人による大学生協へのご意見・ご要望を集めるために、Googleフォームに注意文を掲載することで、取り組みの意図に沿った声を集めることが出来ました！

